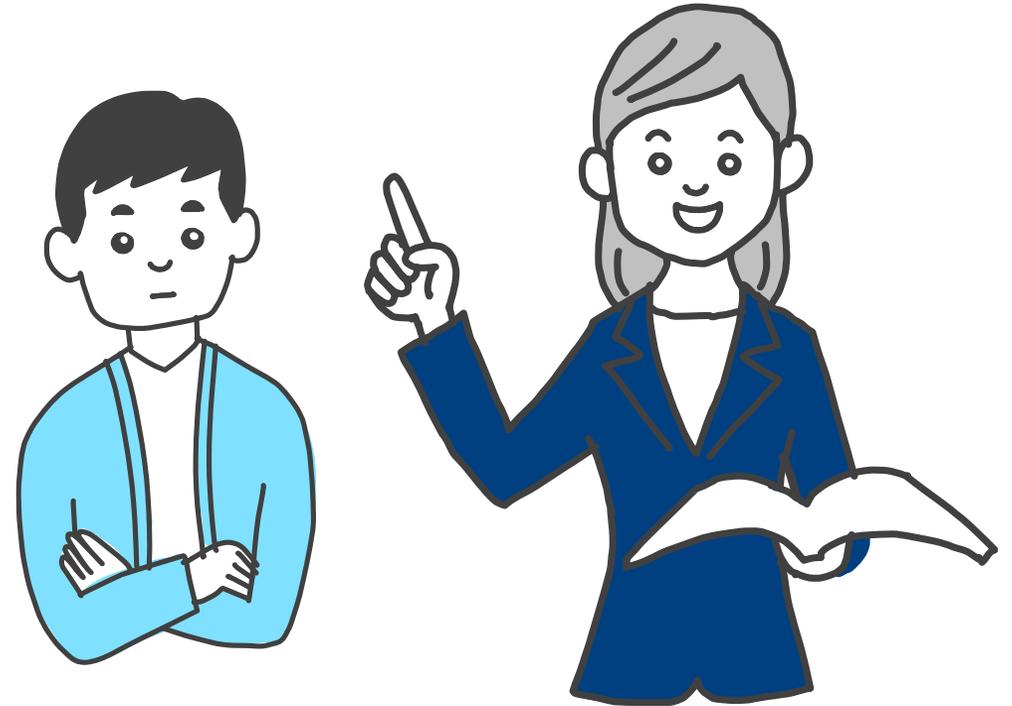


## Lesson

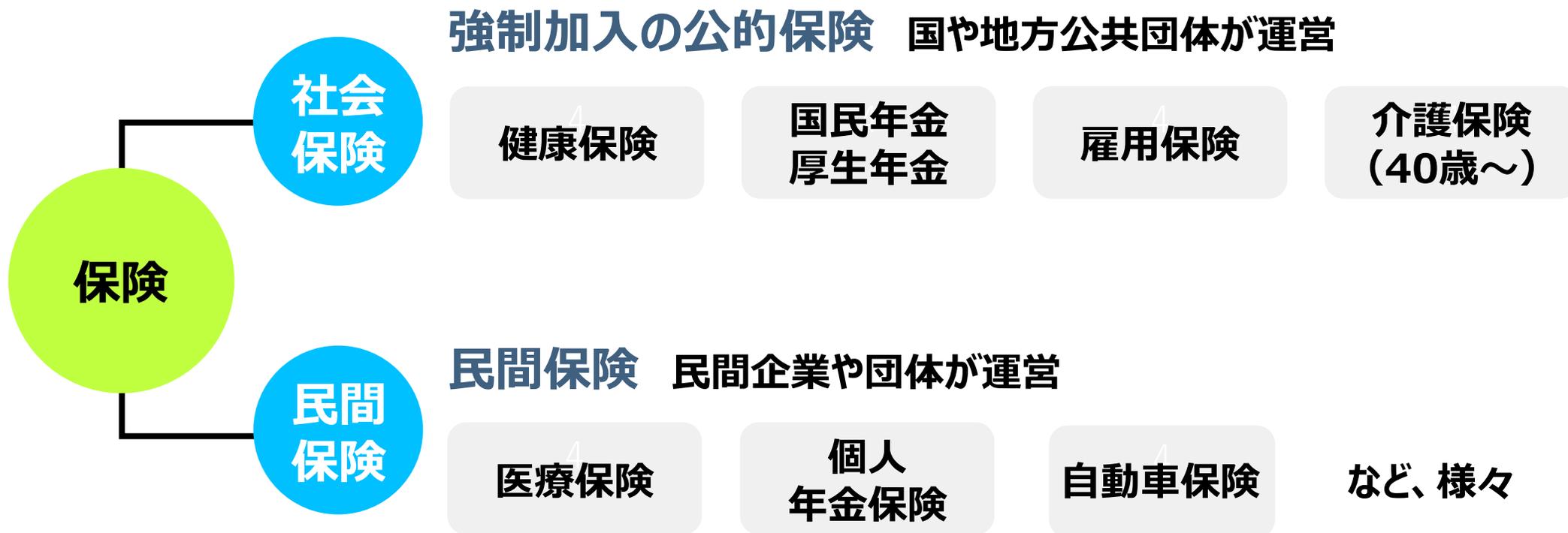
保険とローンを理解しよう～30代以降の生活設計～

# ① 経済的なリスクへの備え—保険の役割



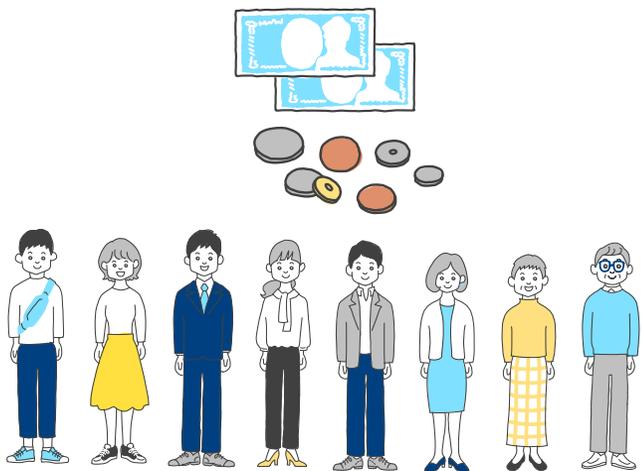
# 保険の種類

公的保険である社会保険と、民間保険とがある

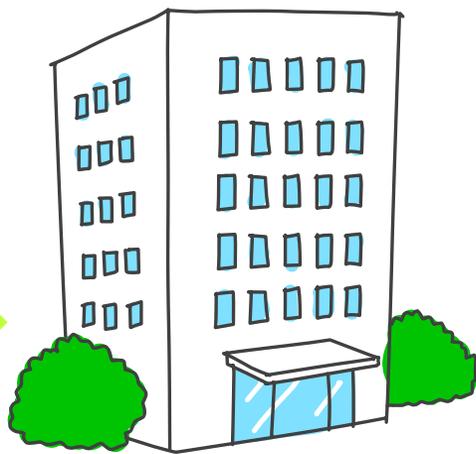
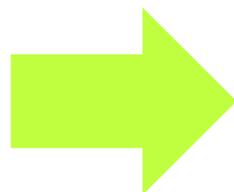


# 保険の仕組み

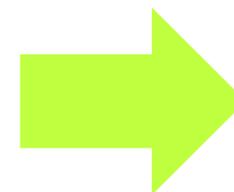
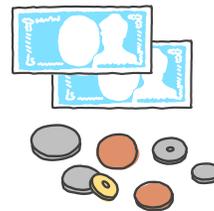
加入者相互で保険料などを支払い、それを資金として  
それぞれの保険で定められたリスクが発生した際に保険金が給付される



みんなで少しずつお金を出し合う



国・地方公共団体  
保険会社



お金を出し合った人の中で  
必要なお金が支払われる

# 民間保険の役割

長い人生には事故や災害、失業、けが、病気、死亡などの不測の事態により経済的負担や損害が発生することがあり、社会保険で補いきれない**リスクに備える**ことができる

個人賠償  
責任保険



自動車保険



火災保険

医療保険



個人  
年金保険



死亡保険

# 民間保険を契約するときの注意点



自分のニーズに合った  
保険を選ぶ



契約内容や  
支払う保険料を確認する



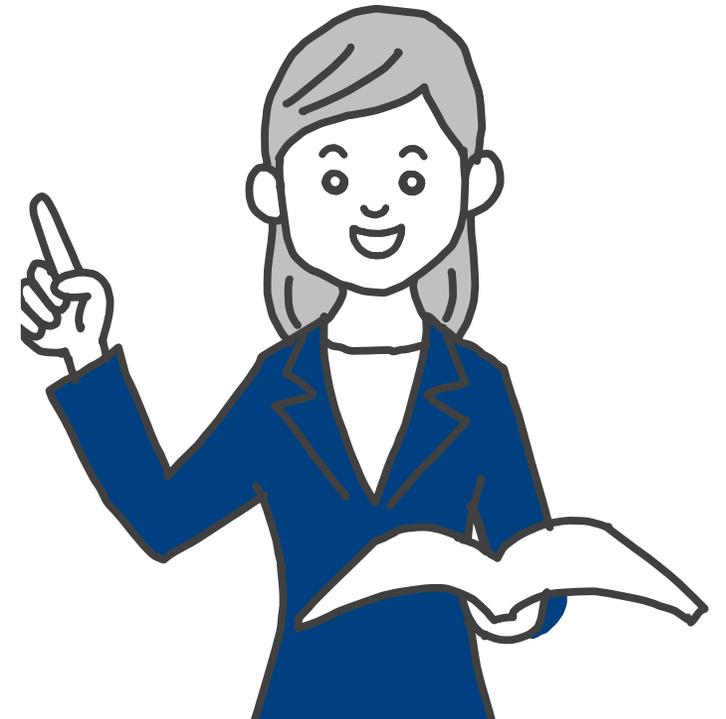
支払う保険料負担が  
過度なものでないかを確認する

必要保障額はライフステージや家計の状況によって異なる  
保険内容や条件などをよく理解して比較・検討し、  
生涯の見通しに合ったものを必要に応じて選択していこう！

## Lesson

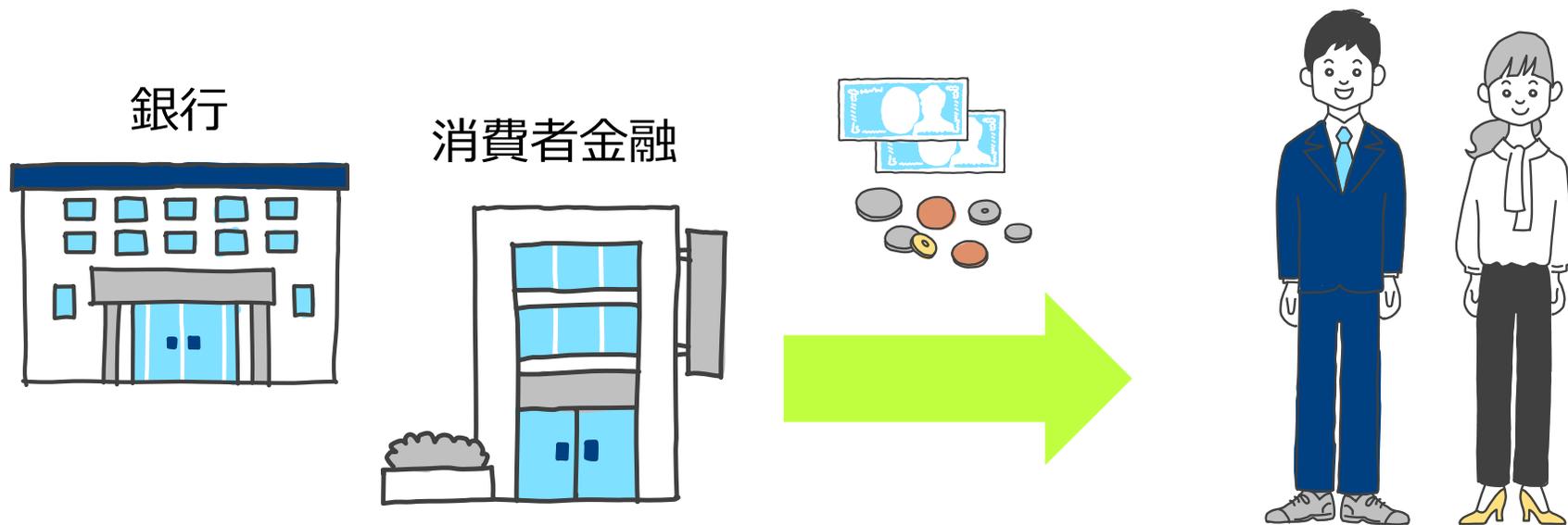
保険とローンを理解しよう～30代以降の生活設計～

# ②ローンの仕組みとメリット/デメリット



# ローンとはつまり「借金」のこと

ローンとは、銀行などの金融機関がお金を貸すこと  
消費者金融の貸付もローンになる

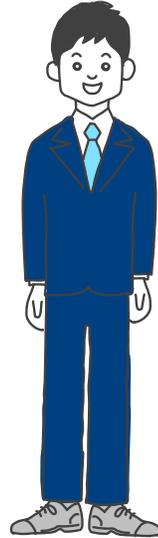


一言でいえば「借金」だということを念頭においておこう

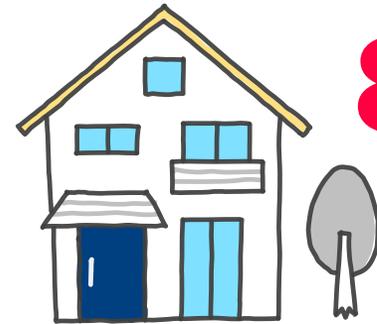
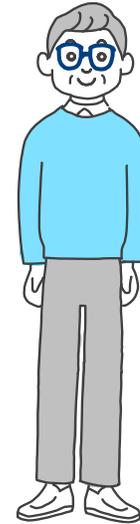
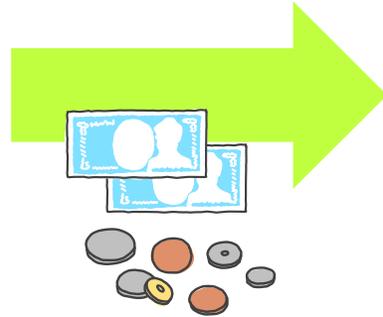
# 貯蓄したお金で住宅を購入するには？

たとえば3,000万円の住宅を購入するために  
1ヶ月に5万円貯蓄した場合、購入するまでに**何年**掛かるだろうか？

30歳



1ヶ月5万円貯蓄



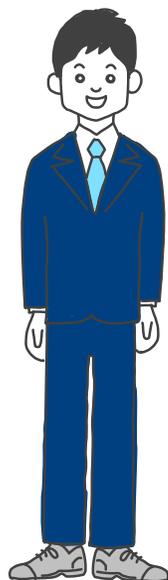
80歳

$$3,000\text{万円} \div (5\text{万円} \times 12\text{ヶ月}) = \text{約}50\text{年}$$

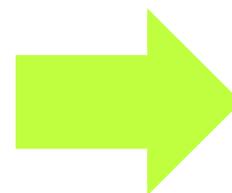
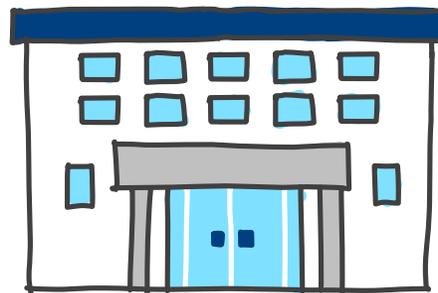
# ローンのメリット

ローンを利用すれば、30歳で住宅を購入できる

30歳



銀行での  
ローン審査



30歳

返済スタート

ローンのメリットは、**必要なものを必要なときに手に入れられること**  
ただし、気を付けるべき注意点もある！

# ローンのデメリット

ローンでお金を借入れて買物をする、借りたお金とは別に「金利」が発生する



+



金利とは、いわば**お金の使用料**のことで、返済金額に上乗せして支払う

# ローンのメリットとデメリット

メリット

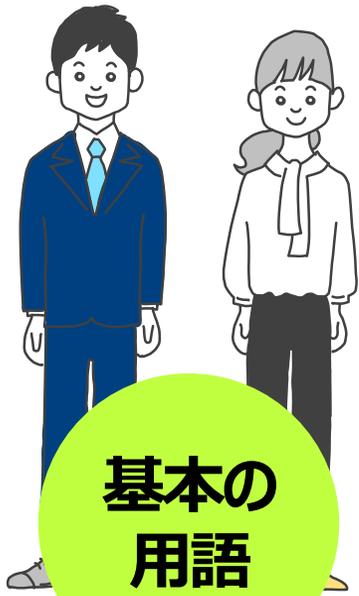


欲しいものがすぐ手に入る

デメリット



金利を払う分、返す額が増える



# ローンの基本を確認しよう

**借入**かりいれ： お金や物を借りること

**返済**へんさい： 借りた金や物を相手に返すこと

**元金**がんきん・**元本**がんぽん： 元々貸し借りした金額、利子を含まない額

**利子**りし・**利息**りそく： お金の貸し借りのときに発生する対価

**金利**きんり： 元金に対する利子の比率（利子・利息を示すこともある）

**元利**がんり： 元金と利子 また、その合計金額

基本の  
用語

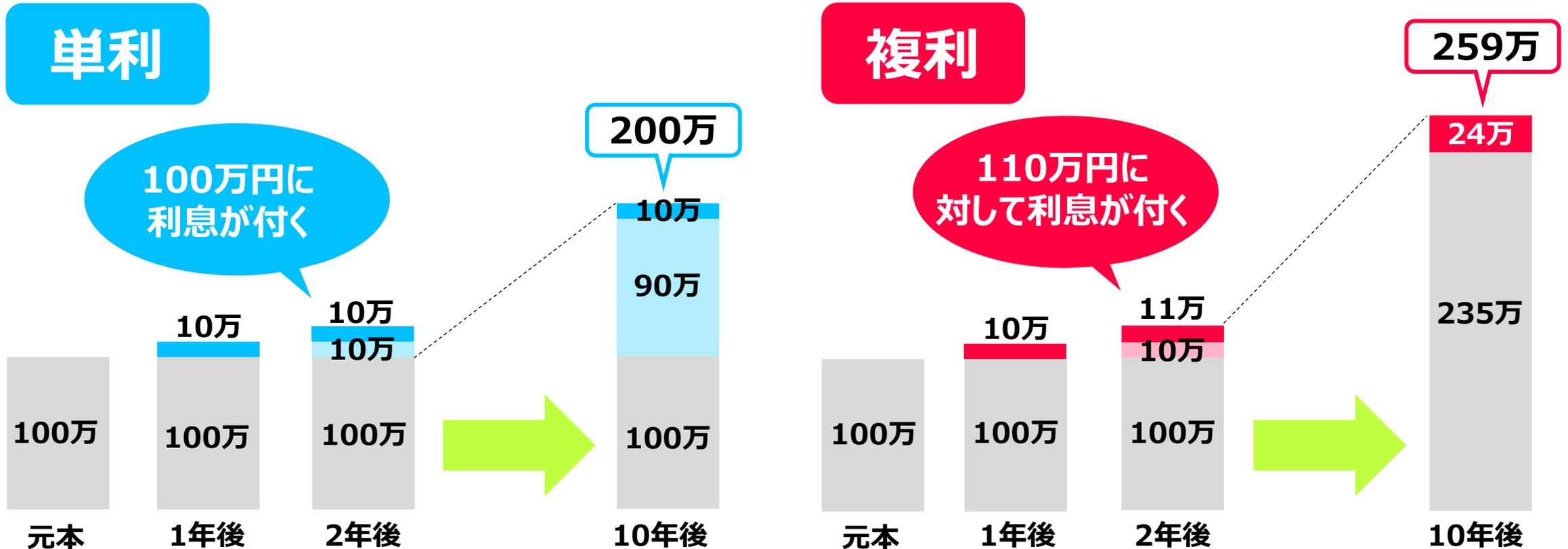
## ローン返済額の計算

$$\text{利息} = \text{元金} \times \text{金利} \times \text{借入期間}$$

基本の  
計算式

# 利息の特徴：複利の計算

複利とは利息を元本に足して、これを新しい元本とみなして次の利息を計算する方法



※元本100万円、金利10%で計算しています

# 複利による利息の増加

20万円を金利15%の単利と複利で借りる

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
単利	23万円	26万円	29万円	32万円	35万円
複利	23万円	26.45万円	30.42万円	34.98万円	40.23万円

4年目で単利の5年目の返済額とほぼ同じ

# 期間の長さとは返済金額の違い

同じ金利・金額で、借る**期間**が長いと返済金額も増える？

100万円を金利5%（元利均等払い）で3年間もしくは5年間借りる

返済期間

**3**年間

総返済額  
約**107.9**  
万円

（毎月の返済金額：29,970円）



借る期間を考える！

返済期間

**5**年間

総返済額  
約**113.2**  
万円

（毎月の返済金額：18,871円）

借る期間が長いと**毎月の返済額は少ないが、総返済額は増える**

# 金利の高さと利息の違い

同じ金額・期間で、借りる**金利**が違くと利息も増える？

100万円を**金利5%**もしくは**15%**（元利均等払い）で3年間借りる

うち利息額  
約**7.9**万円

金利  
**5%**

総返済額  
約**107.9**  
万円

（毎月の返済金額：29,970円）



借りる金利を考える！

うち利息額  
約**24.8**万円

金利  
**15%**

総返済額  
約**124.8**  
万円

（毎月の返済金額：34,665円）

**金利が上がれば、利息も増える**

# 様々なローンと金利の違い

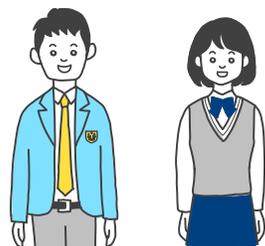
住宅ローン

0.5%~2%



教育ローン

1%~5%



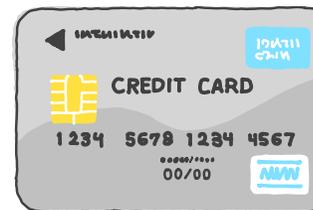
自動車ローン

1%~5%



事業ローン

2%~14%



カードローン

3%~15%

あらかじめ決められた  
借入限度額内なら、いつでも何回でも  
借りることができる仕組み

使用道を**限定した**ローン

使用道が**自由な**ローン

金利の違いによって最終的に**返済する金額**が変わってくる

※記載の金利は一例です

# 元本の大きさによる返済額の違い

同じ金利・期間でも、借りる**金額**大きいと返済は意外に高額？

30万円・300万円を金利5%（元利均等払い）で5年間借りる

うち利息額  
約4.0万円

借入金額

30万円

（毎月の返済金額：5,661円）

ショッピングローンなど

総返済額  
約34.0  
万円

借りる金額を考える！

うち利息額  
約39.7万円

借入金額

300万円

（毎月の返済金額：56,613円）

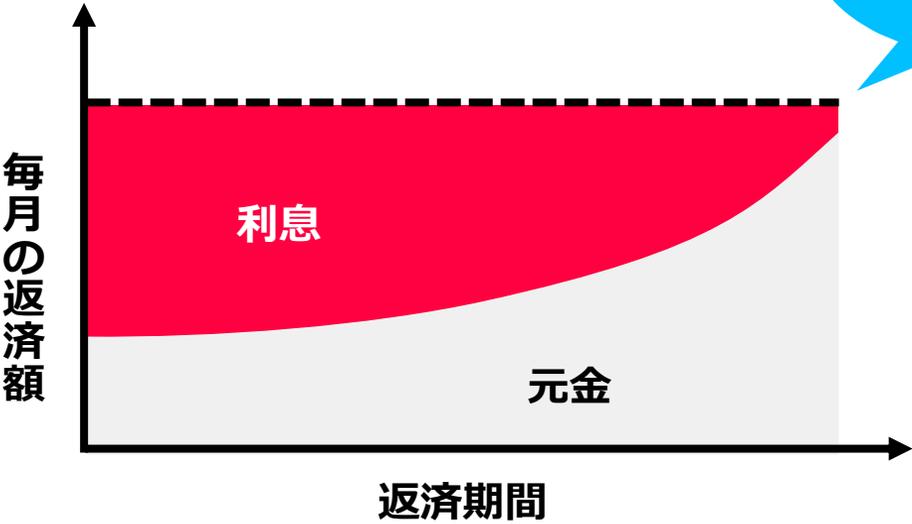
自動車ローンなど

総返済額  
約339.7  
万円

元本が増えると、利息の総金額が大きくなる

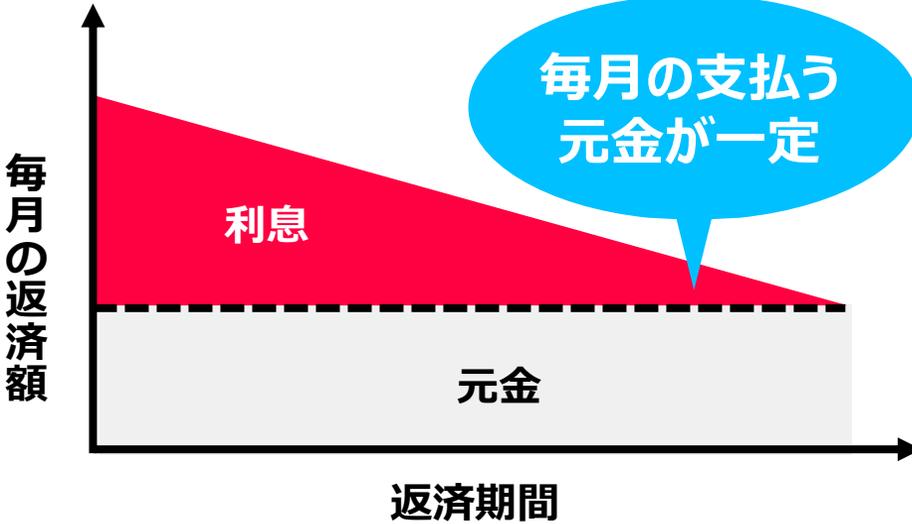
# 元利均等払い・元金均等払いについて

元利均等払い



元金と利息込みで、毎回の返済額が同じ

元金均等払い



元金を均等返済する方法  
毎回の元金残高に対し金利が掛かる

# 元利均等払い・元金均等払いについて

同じ金利・期間・金額で返済方法が違ふ場合

100万円を金利15%で元利均等払いもしくは元金均等払いで2年間借りる

元利均等払い

総返済額  
約**116.4**  
万円

(毎月の返済金額：48,486円)



返済方法を考える！

元金均等払い

総返済額  
約**115.6**  
万円

(初回の返済金額：54,165円)

元金均等払いの返済額は毎月減っていき、総返済額は元利均等払いと比べ少なくなる

## 振り返りメモ

気付いたことや、学んだことをメモしよう

A large rectangular area with a light gray grid pattern, intended for taking notes. The grid is composed of small squares and is enclosed by a thin green border.